

境川流域総合治水対策協議会 第14回委員会
流域対策緊急五ヶ年計画の推進について

平成12年9月の東海豪雨水害を契機として、総合治水対策の重要性が再認識され、平成13年5月の第13回委員会において「流域対策緊急五ヶ年計画」が合意され、その達成に取り組むこととされました。

本日の協議会では、「流域対策緊急五ヶ年計画の進捗状況と取り組み」、「河川事業の概要」等を議題に協議し、今後とも、積極的に総合治水対策に取り組んでいくことで合意しましたので、お知らせします。

1. 流域対策緊急五ヶ年計画の進捗状況について

境川流域の「流域対策緊急五ヶ年計画」とは、流域開発に対する必要対策量の約206万m³に対し、平成12年度末での流域対策量は、約115万m³で対策率は約56%にとどまっており、これを各市町が、平成13年度からの5ヵ年で約21万m³の流域対策施設を整備し、対策率を約66%にするもので、昨年の協議会で合意されたところである。

平成13年度の対策量は約5.3万m³で、13年度末での総対策量は約120万m³に達し、対策率は12年度末から約2%増加し58%となっている。なお、事業着手したが完了に至っていないものもあり、これらを含めると対策率は、約60%となります。

平成14年度以降についても、流域対策の着実な推進に努めていくことと合意された。

また、流域対策を推進する上で抱える諸課題及び県が市町を支援できる諸施策等を検討するため、県庁分科会を改組・強化し検討を進めており、取り組み状況を報告した。

2. 河川事業の概要について

総合治水対策特定河川事業の実施状況を説明し、引き続き強力で事業推進を図っていくことを確認した。

付属資料 境川流域対策緊急五ヶ年計画 実施状況表

境川・流域対策緊急五ヶ年年計画 実施状況

市町村名	必要対策量		H12末 対策状況		緊急五ヶ年年計画			H13末 対策状況		
	流域整備計画	流域開発に対する 必要対策量	総対策量	対策率	五ヶ年年対策量 (当初)	五ヶ年年後対策量		対策量	総対策量	対策率
	(m3)	(m3)	(m3)	(%)	(m3)	総対策量	対策率	(m3)	(m3)	(%)
刈谷市	208,200	266,586	70,072	26%	22,430	92,502	35%	3,100	73,172	27%
								17,688	87,760	33%
豊田市	175,200	419,383	209,203	50%	55,648	264,851	63%	13,200	222,403	53%
								14,500	223,703	53%
安城市	84,000	107,820	111,235	103%	0	111,235	103%	0	111,235	103%
								0	111,235	103%
大府市	126,600	318,707	215,764	68%	37,087	252,851	79%	0	215,764	68%
								6,979	222,743	70%
知立市	208,800	123,791	45,445	37%	24,540	69,985	57%	0	45,445	37%
								0	45,445	37%
豊明市	76,200	227,400	110,380	49%	3,400	113,780	50%	0	110,380	49%
								0	110,380	49%
東郷町	61,200	138,133	68,164	49%	0	68,164	49%	0	68,164	49%
								0	68,164	49%
東浦町	49,800	148,800	102,940	69%	26,611	129,551	87%	0	102,940	69%
								17,500	120,440	81%
三好町	167,400	312,449	215,988	69%	39,976	255,964	82%	37,053	253,041	81%
								37,613	253,601	81%
合計	1,157,400	2,063,069	1,149,191	56%	209,692	1,358,883	66%	53,353	1,202,544	58%
								94,280	1,243,471	60%

注) H13末 対策状況; 上段: 事業完了値、 下段: 事業着手値